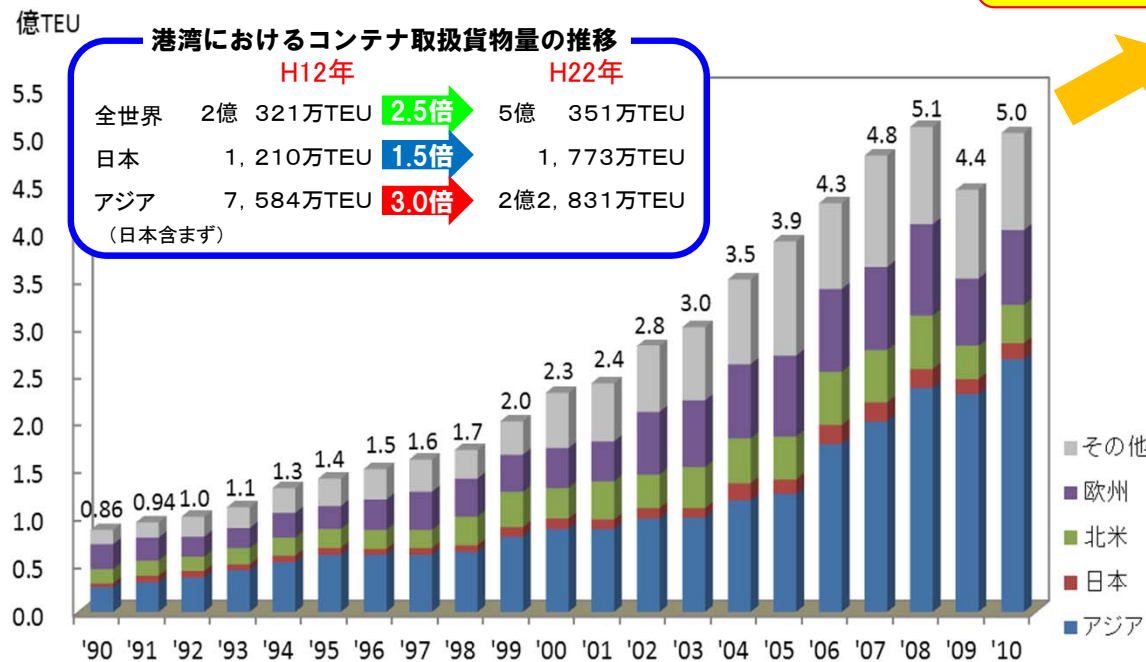


国際コンテナ物流における現状(我が国の相対的地位)

- 近年、コンテナ物流は急速に進展し、平成2年から現在までの20年間で、全世界のコンテナ貨物量は約6倍となっている。
 - コンテナ化が始まった当初(1970年代前半)は、我が国の世界におけるコンテナ貨物量のシェアは高かったが、その後のアジア各国の台頭により、我が国の相対的地位が大幅に下がってきている。
- 《全世界に対する我が国のコンテナ取扱シェア 1990年(H2):9.3%、2010年(H22):3.5%》

◆世界各地域の港湾におけるコンテナ取扱貨物量の推移



世界の港湾における全取扱量は増加傾向にあり、今後更なる増加が見込まれる！

【H2年】

- 全世界のコンテナ取扱量 8,560万TEU
- 我が国のコンテナ取扱量 796万TEU (我が国のシェア:9.3%)

この20年でアジア主要港との差が拡大。戦略港湾施策にて日本の地位向上を図る！

【H22年】

- 全世界のコンテナ取扱量 50,351万TEU
- 我が国のコンテナ取扱量 1,875万TEU (我が国のシェア:3.7%)

順位	港名	取扱量 (万TEU)
1	シンガポール	522
2	香港	510
3	ロッテルダム	367
4	高雄	349
5	神戸	260
⋮	⋮	⋮
11	横浜	165
⋮	⋮	⋮
13	東京	156



順位	港名	取扱量 (万TEU)
1	上海	2,907
2	シンガポール	2,843
3	香港	2,370
4	深圳	2,251
5	釜山	1,419
⋮	⋮	⋮
27	東京	428
⋮	⋮	⋮
36	横浜	328

○アジア: 韓国、中国、香港、台湾、タイ、フィリピン、マレーシア、シンガポール、インドネシア
 ○北米: アメリカ、カナダ
 ○欧州: イギリス、オランダ、ドイツ、イタリア、スペイン、ベルギー、フランス、ギリシャ、アイルランド、スウェーデン、フィンランド、デンマーク
 ○その他: 日本と上記以外